

株式会社バイテックホールディングス



2018年3月期
第3四半期決算 説明資料

【決算のポイント】

(単位:百万円)

売上高	全事業で伸長した結果、前年比増加率37%を達成
経常利益	環境エネルギー事業が牽引し、前年比増加率は24%
ROE	前年比3.1pt改善し13.1%となり資本効率が向上

	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	対前年同期比 増減率	2018年3月期 通期目標
売上高	98,746	135,200	36.9%	188,000
売上総利益	7,900	8,661	9.6%	—
営業利益	2,315	2,690	16.1%	3,250
(営業利益率)	(2.3%)	(1.9%)	—	(1.7%)
経常利益	1,734	2,151	24.0%	2,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,070	1,509	41.0%	1,800
1株あたり当期純利益 (EPS)	77.85円	106.68円	—	126.52円
自己資本利益率 (ROE)	10.0%	13.1%	—	—

※PL換算レート(円/米ドル):2016/12期 107.88円、2017/12期 111.82円

貸借対照表の推移

【ポイント】

(単位:百万円)

資産	現預金が12億、売上債権が39億、棚卸資産が59億増加
負債	仕入債務が47億、借入金が111億増加
純資産	利益剰余金が7億増加

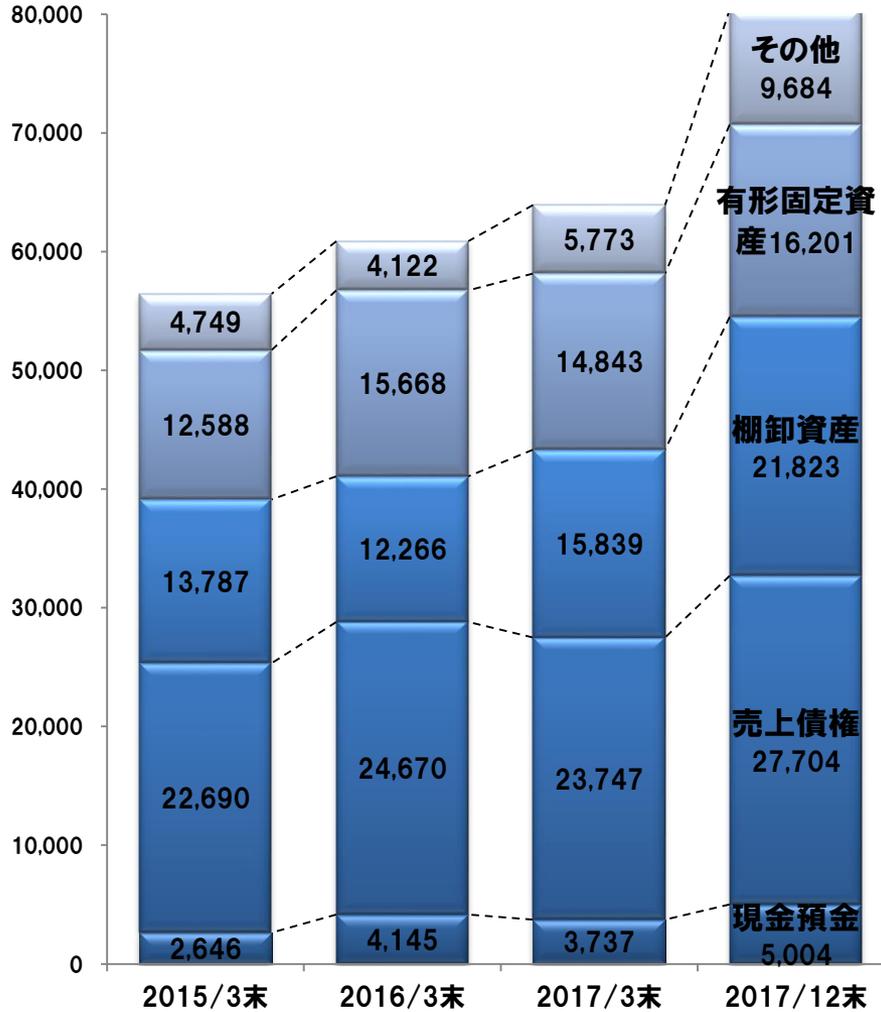
	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2017年12月末	対前期増減額
流動資産	40,508	42,173	45,435	59,273	13,837
固定資産	15,952	18,698	18,503	21,142	2,639
資産合計	56,460	60,871	63,939	80,416	16,476
流動負債	32,684	33,684	35,841	50,617	14,776
固定負債	10,618	13,821	12,965	13,651	685
負債合計	43,303	47,505	48,807	64,268	15,460
純資産合計	13,157	13,365	15,131	16,147	1,015
負債純資産合計	56,460	60,871	63,939	80,416	16,476
自己資本比率	23.3%	21.8%	23.0%	19.5%	—

※BS換算レート(円/米ドル):2017/3月 112.19円、2017/12月 113.00円

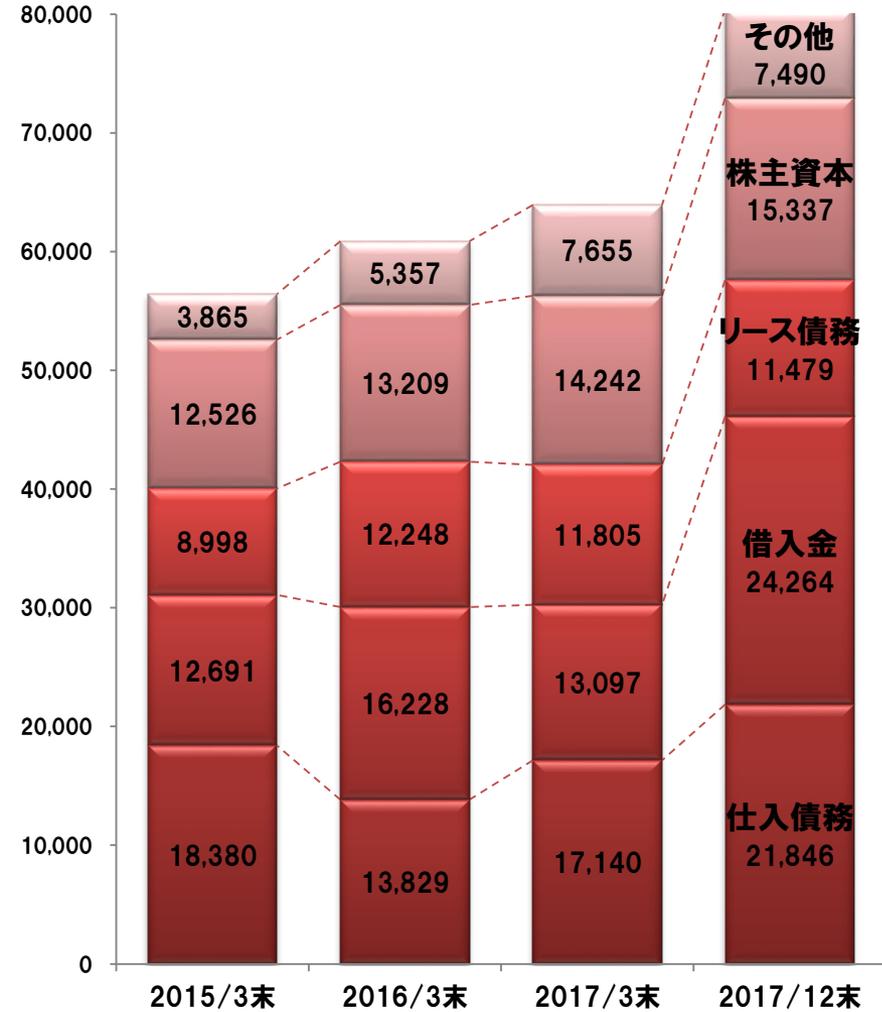
貸借対照表(主要科目)の推移

(単位:百万円)

資産

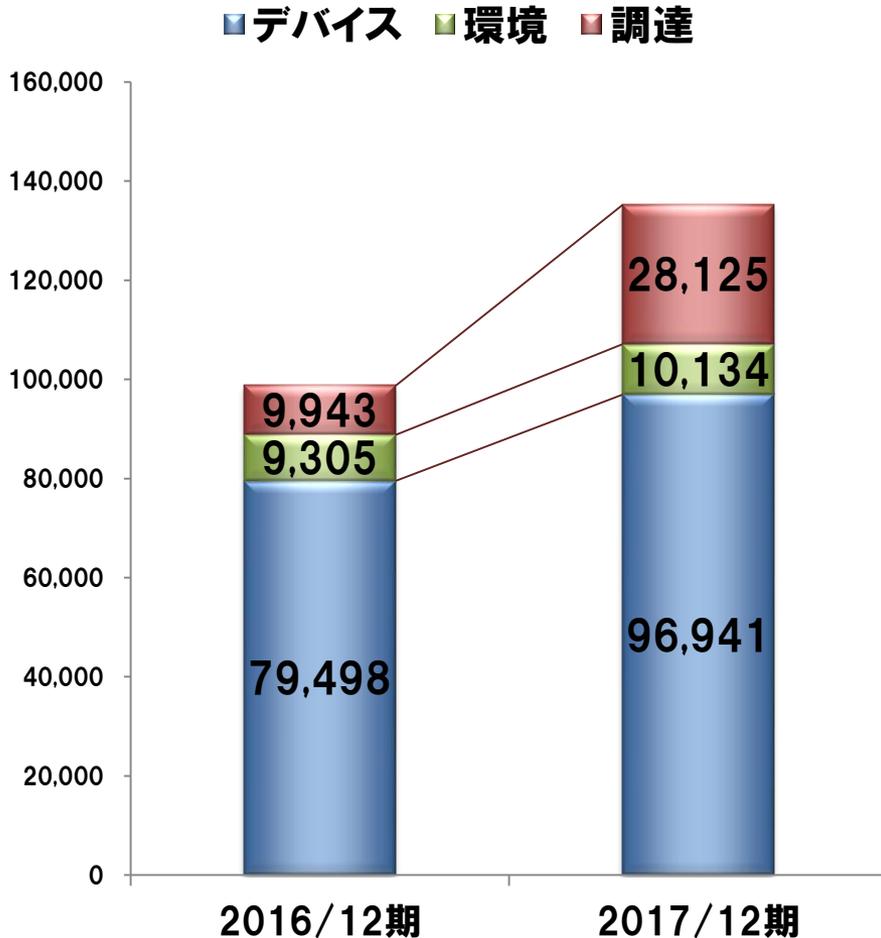


負債・純資産



※借入金、リース債務は短期、長期の合計

売上高

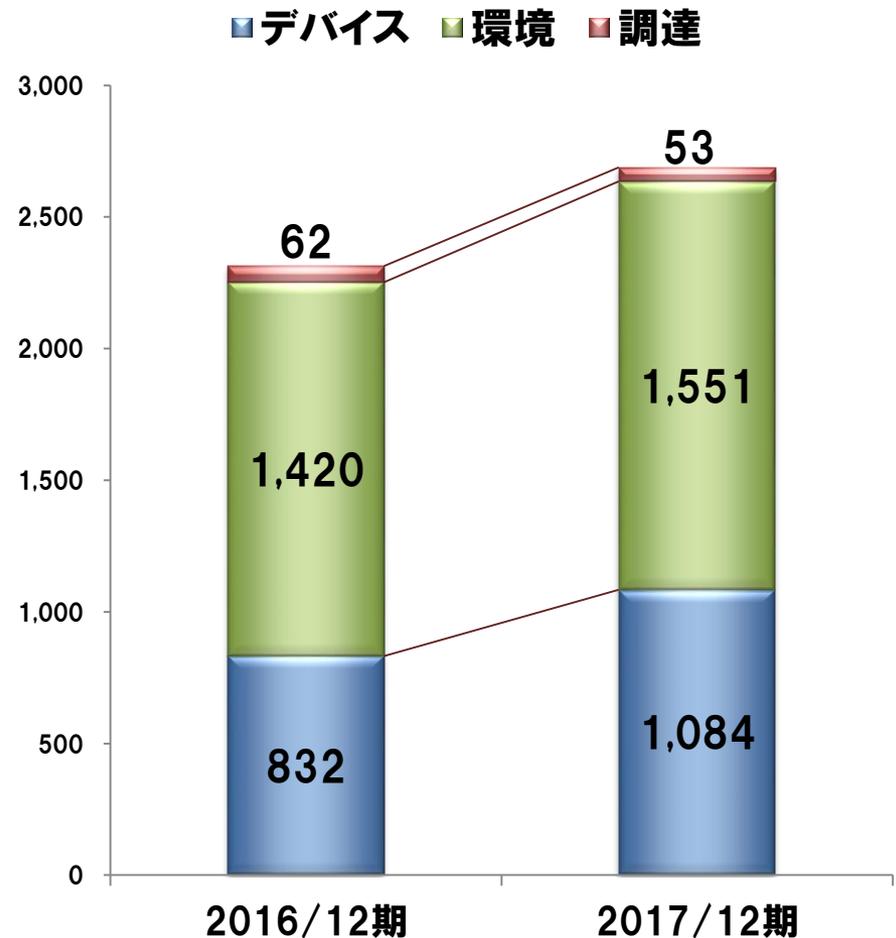


【トピックス】

- デバイス : イメージセンサー、メモリの売上が伸長
- 環境 : 売電小売の伸長、営農型太陽光発電所の売電開始
- 調達 : 輸入部材の取引拡大、PC用部材の売上の伸長

営業利益

(単位:百万円)



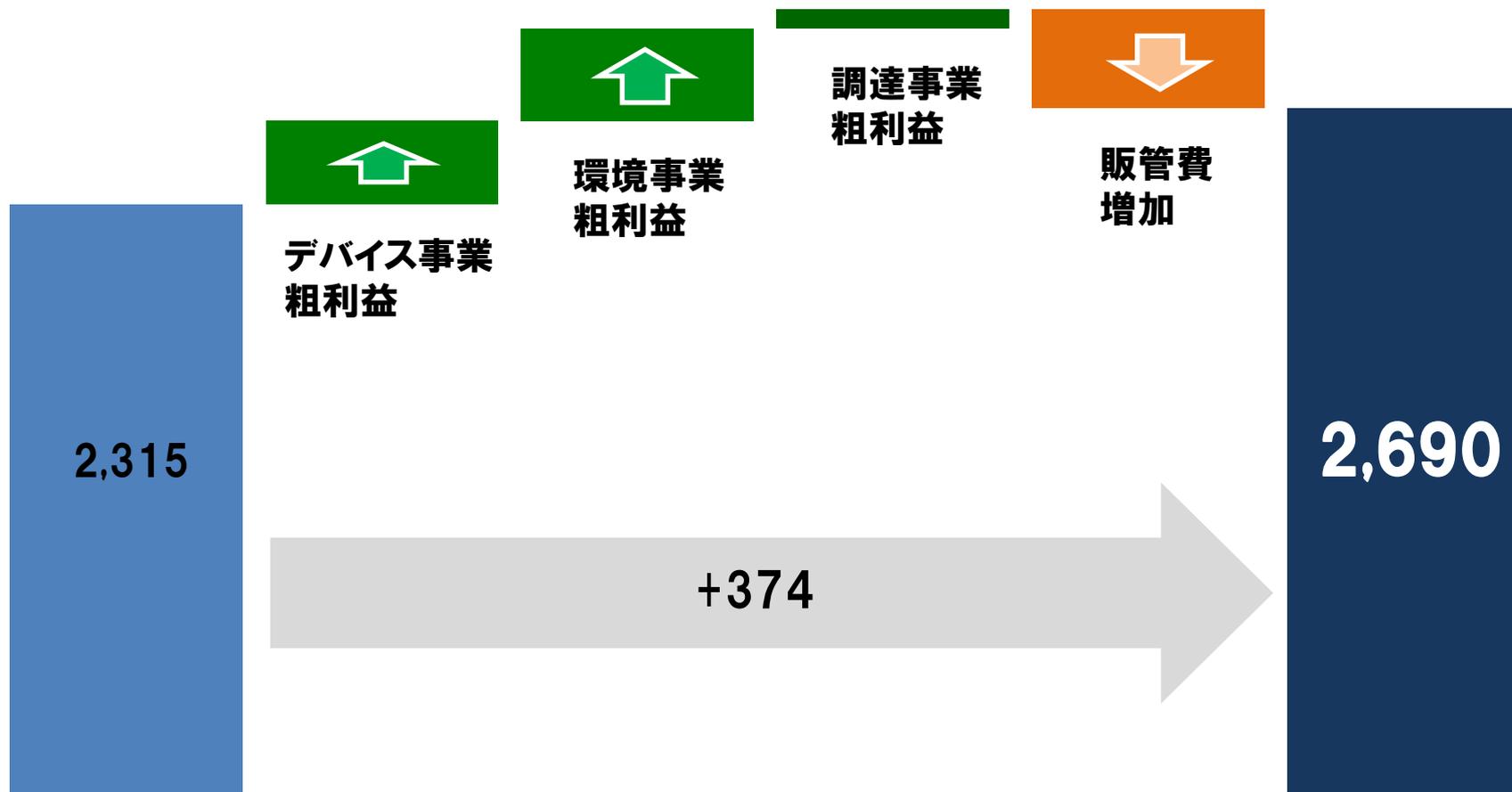
【トピックス】

- デバイス事業の営業利益は前年比130%と伸長し、環境事業についても前年比109%となり、メガソーラー発電事業を中心に利益改善に大きく貢献した。

※セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【営業利益】

(単位:百万円)



2016/12期

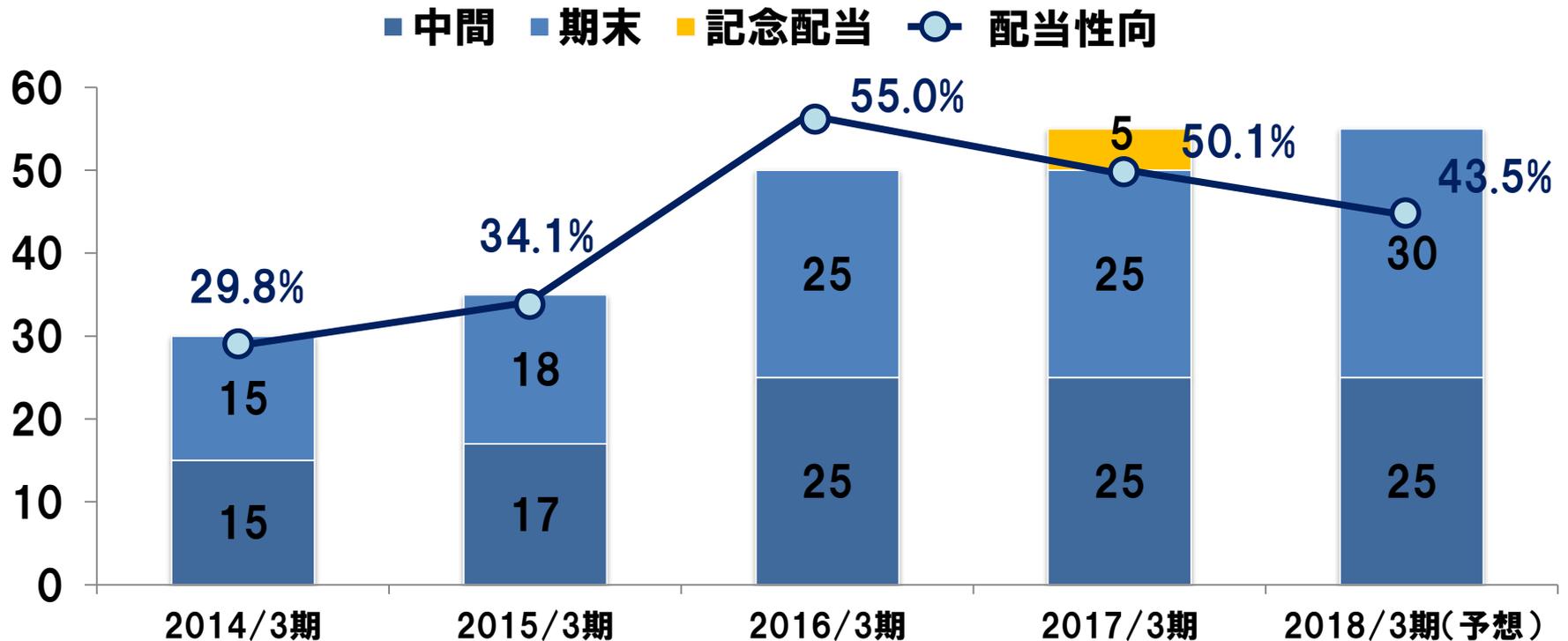
2017/12期

【配当に関する基本的方針】

- 安定的な利益還元を経営の重要課題として位置づけております。
- 連結配当性向30%を目標としております。

【一株あたり配当金】

(単位:円)



環境エネルギー事業の進展

発電事業の拡大と利益の最大化

バイテックソーラーエネルギー



電源の有効活用

新電力事業 V-Power

メガソーラー新規案件の継続発掘

効率化・管理徹底による利益最大化(発電・保守)

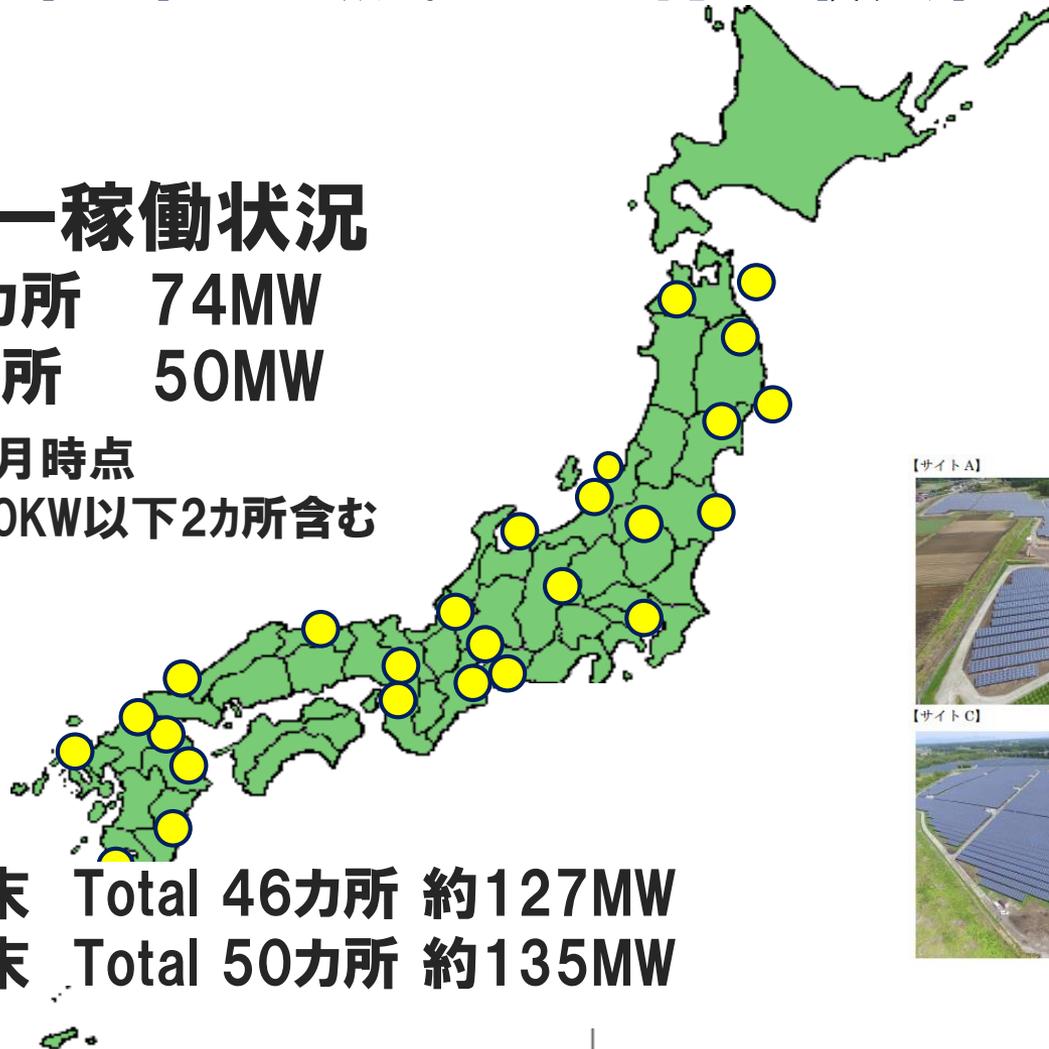
メガソーラー稼働状況

高圧 42カ所 74MW

特高 3カ所 50MW

※2017年12月時点

小規模500KW以下2カ所含む



2018年3月末 Total 46カ所 約127MW

2019年3月末 Total 50カ所 約135MW

六戸ソーラーパーク (22,090MW)

【サイトA】



【サイトB】



【サイトC】



【周辺図】



風力発電への新たな取組み

大型風力
洋上風力

小型風力 増設
(北海道・秋田県)

小型風力
100~200基

小型風力
実機検証開始



北海道遠別町 第1風力発電所
2017年1月24日~

小型風力
パッケージ販売



2018年
3月期

2019年
3月期

2020年
3月期

植物工場の全国展開



2017年10月13日
バイテックファーム七尾 出荷式の様子



バイテックファーム大館

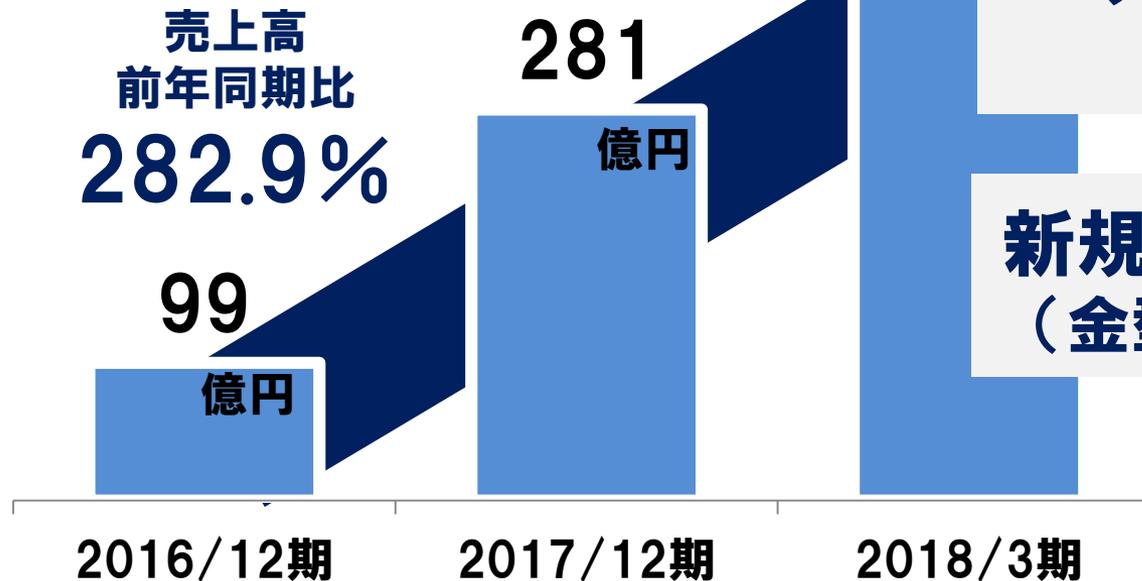


調達事業の進展

商流・物流の集約化

パナソニックビジネス の伸長

車載向け液晶、エアコン用部材
冷蔵庫用コンプレッサー、PC用部材等
他社への横展開



パナソニックモデル
の横展開

新規ビジネスの創出
(金型・EMS活用 等)

共創の進展

IoT・FinTechサービスのグローバル供給体制確立 グローバルモビリティサービスと業務提携



IoTモビリティデバイス・プラットフォーム・サービスのグローバル供給開始



2016年3月期	6月	監査等委員会設置会社へ移行
	10月	持株会社体制への移行 V-Lowマルチメディア放送事業へ参画、アマネク社との資本提携 Telit代理店契約
	11月	指紋認証モジュールの販売開始 特別高圧7MW稼働(兵庫県三田市) 特別高圧21MW稼働(岩手県滝沢市)
	12月	野菜販売専門会社設立
	1月	TWPGの連結子会社化
	3月	NTTドコモ等4社共同開発製品発表会 韓国事務所 法人化
	2017年3月期	4月
5月		テクノアルファとの業務提携
10月		VISTEL (TEDとの技術合併会社) 事業開始 ViMOS (独FRAMOS社、台湾WPGグループとの合併会社) 設立合意
2月		記念配当のお知らせ 菱熱工業との資本提携(第三者割当)
5月		台湾WPG Holdingsとの資本提携(第三者割当)
2018年3月期	8月	六戸ソーラーパーク(特別高圧)運転開始
	10月	第2号植物工場(石川県七尾市)出荷式典
	10月	JIG-SAWグループとインダストリアルIoT分野で業務提携
	10月	当社グループ冠スポンサーによるデリシャススマイル杯開催のお知らせ
	12月	グローバルモビリティサービスと業務提携
	1月	小型風力発電 1号機稼働(北海道天塩郡遠別町)
2月	営農型太陽光発電所第1号機運転開始(バイテック登米太陽光発電所)	

◇ 将来の見通しに関する注意事項

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。